

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 34-001							
PDCA	事務事業名	病院経営事業	部課等名	半田病院事務局 管理課 経理担当	担当	石川	
					内線等	22-9881	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 3. 半田病院					
		単位施策： (2) 健全な経営の推進					
	根拠法令等	個別施策： ②経営の効率化					
	根拠法令等	地方公営企業法、半田市病院事業の設置等に関する条例等					
	対象・目的	公立病院として地域住民に対し、安全で安心かつ質の高い医療を提供し、病院経営を継続的に黒字にする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	地方公営企業法に基づき、住民の福祉、健康保持に必要な医療を提供するため、病院改革プランに基づく取り組みを始め、経営改善に努めることで病院事業を継続的に行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①医業収益		11,980,757	12,947,019	13,970,720	千円
		②医業外収益		564,864	563,023	543,216	千円
		③医業費用		11,922,716	12,475,213	13,084,200	千円
		事業費		5,710,684	6,027,025	6,558,863	千円
		人件費		6,212,032	6,448,188	6,525,337	千円
		総事業費		11,922,716	12,475,213	13,084,200	千円
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位
		①材料費対医業収益比率		24.8	25.3	26.4	%
		②入院患者一人1日当たり診療収入		60,211	61,652	62,906	円
	③外来患者一人1日当たり診療収入		15,168	16,471	18,110	円	
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①経常収支比率	実績値	101.6	104.3	106.3	%
			目標値	102.9	103.1	102.0	
		②医業収支比率	実績値	100.5	103.8	106.8	%
目標値			101.6	102.5	102.0		
③累積欠損金 (▲マイナスは利益剰余金を表す)		実績値	905	665	▲ 175	百万円	
		目標値	730	689	503		
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	A					
		地域の医療機関等との連携及び機能分化を推進し、急性期に特化した患者を受け入れることで、入院患者数や手術件数の増加に繋げてさらに収益を改善するとともに、30年度で退職給付引当金の計上を終了したこともあり、累積欠損金を解消することができた。また、薬品や診療材料、医療機器等の購入においては、継続した価格交渉や材料の見直しなどに加えて、消費税率引上げへの対応として前倒しで購入するなど経費の節減に努め成果に繋げることができた。 今後も急性期を中心とした患者の確保と、安定した収益を継続して確保していく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			地域の医療機関等との連携及び機能分化を一層進めるとともに、手術支援ロボットなどの高度医療機器の導入にともない、より高度かつ安全な医療を提供する。また魅力ある病院として安定した医師の確保に努める。感染症拡大による減収や消費税増税の影響は大きい。これまで以上に経営感覚やコスト意識を身につけ、新病院建設に向けて職員が一丸となり安定した経営を維持していく。				
		令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			①経常収支比率		101.0	%	
②医業収支比率			101.0	%			
	③累積欠損金		▲ 175	百万円			